

種便利

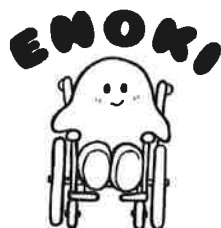
さくらの家 西町

夏のクラフト制作

社会福祉法人 えのき会
京都市伏見区桃山町山下44の8
(075) 605 0303



さくらの家西町では、一足先に夏のイベントを実施。
今年の夏のクラフト制作ではLEDライトを使った作品作りをしました。
皆様のお気に入りを、アクリルガラスにボスカーペンで描いて点灯すると・・・みんなとても可愛らしい、インスタ映え映えの作品が出来ましたよ。お部屋の飾りや、少しほっこりしたい時に役に立ててもらえればと思っています。
今後もう少しつつですがクラフト活動を広げていきたいと考えてますので皆様のご参加をお待ちしています。



種の家

七夕レクリエーション



7月に入り、種の家では七夕レクリエーション週間を楽しみました。それまでに笹に飾る短冊を書いたり、スヌーズレンボトルを手作りしたり、室内に天の川をイメージして飾りつけをおこなったり、それだけでもすっかり七夕気分を味わいました。

当日は天井にもキラキラとイルミネーションをつけジーンと見つめる利用者さん、職員も綺麗な光にうっとりみとれてしまいました😊

また、七夕にちなんだピアノライブや朗読会、風船パレーのネットを天の川にみたくて、織姫と彦星がちゃんと渡れるように風船を飛ばすと楽しそうな利用者さんの笑顔がみれました。



わぐらの家

園

芸



わぐらの家では数年前から「園芸したいなあ」「なにか育てようよ」といったやりとりをしては忘れ、思い出した頃にはシーズンオフになって…を恥ずかしながら繰り返し返してきたのですが、この春からつい「ミニトマト」「パジル」「大葉」のプランター栽培にチャレンジしています。とはいっても熱心にせっせと水やりをするでもなく、雨の恵みにも助けてもらいながらできる時に水やりやお手入れをしながらマイペースに園芸活動を楽しんでいます。

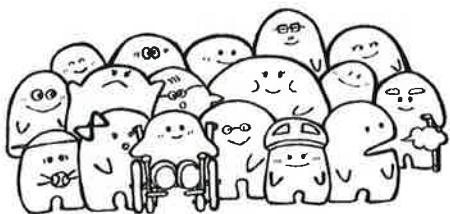
そんなこんなで無事に実ってくれたミニトマトや大葉をメンバーさんが栄養士さんに売り込み、給食に使ってもらったことで(栄養士さんありがとう！)、みんなで美味しくいただいています☆

研修
報告

5月28日(日)

「権利擁護研修振り返り研修」

3月開催した権利擁護研修の内容の振り返りグループワークにて研修内容を受けて実践していることの共有・発表



職員のレポート

今後職場でそのどのように取り組んでいくか、具体的な内容

○支援担当者から、情報がもらえるように会議で提案する。(契約更新時期が近くなると、支援担当者にご家族様に支援について伺ってもらう等。また、作成した計画書を支援担当者に確認してもらええる仕組みづくり。)

○話し合うことの大切さについての言及が多かったように、法人が大きくなることで日常的に話し合えなくなってきた現状があるのだと。難しくなった…からしないでなく、難しい中でいかに話す機会をつくっていくのかという話し合いをしたいところです。

○違う方向から考えてみたり、関わっている職員と相談しながら計画を立てるようにする。

○支援計画を一つの業務としてルーティン化せずに、色々な視点から利用者を捉え、より良い支援を考えていきたい。

○支援目標を意識して働きかけていきたい。支援を通して自分の中のゆらぎを一人で完結するのではなく周囲の方と共有していきたい。

○チームでの支援を目標に、情報の共有や自分の苦手な事等の報告をミーティングで発言していきたい。

○活動などでは、「ご利用者様にとって楽しむことができるものになっているかを意識する。ご利用者様の表情、しぐさなども細かいところもキャッチすることができるようになる。その人にあった対応をおこなう。その人の強みに着目してみる。

○計画書に入れる内容の絞り込みをすること、それにそって支援の提供をしていきたい。「家族の意向を聞いて計画に入れ込みたい。